

第24回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第24回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果をとりまとめましたので、お知らせします。

結果のポイント

- ・総合景気観のDI値は(-6)となった。
- ・前回9月調査値(-6)と比べると(±0)となり、持ち直しの動きが見られている。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成27年12月調査

	調査数	前回調査		今回調査			前年調査	
		A 現況 (H27. 9)	見通し (H27. 10- 12)	B 現況 (H27. 12)	(B-A)		見通し (H28. 1-3)	現況 (H26. 12)
					前回現況 との対比			
総合	96	-6	10	-6	0	4	-15	
農業	10	0	10	-10	-10	10	-30	
建設業	10	-10	0	-30	-20	-40	0	
製造業	11	-17	26	0	17	0	-55	
卸売・小売業	24	-4	4	-38	-34	-4	0	
観光業	10	0	-20	20	20	20	-20	
飲食業	10	0	0	10	10	10	-30	
サービス業	21	-9	32	19	28	23	-5	

- 調査目的 本市経済の景況感をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - (1)現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - (2)3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - (1)現在の景況感(2)3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い(良くなる)」の構成比から「悪い(悪くなる)」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 「DI」(Defusion Index、デフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標の事で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。